



高麗中学校だより

日和田

令和5年・12月号

文責：大里 治泰

学校教育目標 よく学び 心豊かに たくましく

ミラクル高麗中 奇跡を起こせ！

感動のトリプルパンチ

「百歌繚乱 ～思いよ、届け！
全力尽くして歌いきれ！～」

10月に行われた合唱祭は、各学年の思いの詰まった合唱、全校で奏でる合唱、指導者のサプライズ演奏と感動のトリプルパンチ。合唱の素晴らしさ、全力の歌声で思いが届いたミラクルな合唱祭になりました。



本物に触れる

合唱祭の指導者からの嬉しいサプライズ。指導講評の最後に、高橋先生がピアノで「旅立ちの日に」を自ら伴奏し歌ってくれました。

作曲者本人による演奏に、鳥肌の立つような感動。体育館のいつものピアノが特別なピアノに変身し、素敵なおピアノの音色に乗った尾澤先生とのデュエットが体育館いっぱい響き渡る。感動で涙する生徒、教職員…かく言う私も感涙…。

ご縁をいただき「本物」の歌を聴くことが出来て幸せでした。これだと思う本物を体験する機会をつくる。見て・聞いて・触れる経験が今後の人生の糧になる。作曲者の演奏を聴いたことで、それを強く感じました。

勢いが止まらない、その2

野球部が入間北部STORM杯で県大会出場の強豪チームを破って優勝、3年生が税の標語（所沢税務署）で入賞、2年生が日高市青少年の主張大会で市長賞、青少年育成日高市民会議会長賞を受賞しました。

また、卒業生が全国高校サッカー選手権埼玉県予選決勝に出場し、チーム2点目となるゴールを決め見事優勝、全国大会出場を決めました。

小さな学校から大きな活躍が生まれる。高麗中生のポテンシャルの高さに驚きました。自分で学び、考え、選択し、行動していく＝自律が、その先の成功＝ミラクルにつながっています。

高麗の風景

・当番ではないけれど ～お昼の放送へのおもい～

給食の時間、慌てて職員室に来て放送室の鍵を持っていく2年生。「放送当番？」と聞くと、「いえ違います。でも、放送が流れていなかったの…」。私はお昼の放送を毎日楽しみにしています。知っている曲が流れることは殆どありませんが、中学生が好きな曲を知ることができるし、グッと感動する曲にも出会えます。当たり前を通り過ぎていくお昼の放送は、毎日運営してくれる生徒のお陰で楽しめている。放送してくれた生徒の「お昼の放送へのおもい」に感謝し、これからも放送を楽しみたいと思いました。

・カラを破りました！

ある生徒が合唱祭を終えて書いた言葉です。「去年は恥ずかしくて思ったように声を出せませんでした。今年はカラを破り、当日は声が少し枯れてしまうぐらい全力で歌いすることができました。」と綴っています。カラを破るきっかけは、はじめて指揮者に挑戦したこと。勇気を持って何かに挑戦することでカラを破ること＝成長することができた。

何かをきっかけにしてカラを破る、昨日の自分を今日の自分が越える。素晴らしいチャレンジです。学校は、そんな皆さんの背中を押せるよう頑張ります。ミラクル高麗中！